

第1学年 日本語学級「じどう車クイズをつくろう」（オンライン授業）

トピックのねらい	○自動車の「しごと」や「しくみ」でクイズをつくることができる。
日本語の目標	○いろいろな自動車の「しごと」と「しくみ」の意味を理解し、教科書の内容を読み取ることができる。 ○「私のしごとは○○するしごとです」というモデル文を使ってクイズをつくることができる。
関連	教科・単元 国語科「じどうし車くらべ」A 生活科「フィリピンだいすき」B
	くらし・行事
主な学習活動	① いろいろな自動車の「しごと」と、そのための「しくみ」を考える。 ② 「しごと」と「しくみ」で、クイズを出し合う。

教材・教具：ロイロノート、ミニカー

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「○日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 教師の出したクイズにこたえる。	◇教科書に出てきた自動車のしごととしくみを思い出してクイズにこたえるように声をかける。	A
	いろいろなじどう車の「わたしはだれでしょう」クイズをとこう。		
	2 写真を見たり、「しごと」と「しくみ」を聞いて、自動車の名前を考える。	◇「しごと」と「しくみ」を知って、なんという自動車かを考える。 「わたしは、○○だと思います。」のモデル文で発表する。 *教科書には出てきていない、フィリピンならではの自動車も出題し、知っていることを交流する。	A B
	3 初めて知った自動車のしごとと、そのためのつくりをワークシートにまとめる。	◇先行学習となるワークシートの書き方を練習する。	A
4 学習をふりかえる。	○ふりかえりカードに記入するよう指示し、自己評価できるようにする。		
2	1 みんなでグループに分かれてクイズを考え、出し合うことを伝える。	○グループの代表がカードを選んでクイズを考える自動車を決める。 ○決まったらブレイクアウトに分かれる。	A
	グループに分かれてクイズを考えよう。		
	2 グループでクイズを考え、発表の分担や練習をする。	○自動車のしごととしくみを考える。 日本とフィリピンの自動車の共通点や違いなどにも目を向けられるように声をかける。 ○出てきた意見は、教師が板書していく。	A B
	3 全体でクイズを出し合う。	○モデル文を使ってクイズを作る。 「わたしのしごとは○○するしごとです。」 「そのために、〜〜〜なっています。」	A
4 学習を振り返る。	◇上手にクイズが作れたか、発表ができたかを挙手で問う。		

初めは教科書にでてきた自動車の問題を、次に日本とフィリピン共通の自動車、そしてフィリピンならではの自動車の問題、というように発展的に教師から問題を出すようにしました。いろいろな自動車のクイズを経験した後、自分たちで問題を考えました。

わたしは だれで しょう。

ヒント1  
 ・わたしの しごとは、  
 たくさんの人を のせて はこぶ  
 しごとは、

ヒント2  
 ・そのために ざせきが  
 ひろいです。

ヒント3  
 ・大きな まどが  
 たくさん あります。



きゆうきゆう車

まんやうつえ マスクとビブス  
 ハビー知え 犬へび、おに  
 スター、オブライト  
 茶のめん、茶、お茶  
 薬、お茶、お茶



わたしは だれで しょう。

ヒント1  
 ・わたしの しごとは、びょうきの人  
 を いそいで びょういんへ  
 はこぶ しごとは、

ヒント2  
 ・そのために サイレンを ならす  
 ことが できます。

ヒント3  
 ・びょうきや けがを した人を  
 のせる ベッドが あります。

ジープニー



わたしは だれで しょう？

ヒント1  
 わたしは だれで しょう。

ヒント2  
 ・そのために ざせきが ひろいで  
 す。

ヒント3  
 ・わたしは フィリピンで しごとは  
 しています。

## 令和3年度 第1学年 日本語学級「じどう車クイズをつくろう」ふりかえり

<p style="text-align: center;"><b>児童の様子</b></p>	<p>《日本語学級での様子》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○じどうしゃクイズは、解く方も作る方もとても楽しんで取り組めた。</li> <li>○ブレイクアウトでグループに分かれてクイズを作ったので、全体でクイズを出し合う時の楽しさが一層増した感じがあった。また、分担や練習もしやすかった。</li> <li>○日本とフィリピン共通の自動車や、フィリピンならではの自動車などいろいろあり、知っていることを発表しあいながらクイズに取り組むことができた。</li> </ul> <p>《在籍学級での様子》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「じどうしゃずかんをつくろう」の学習の先行学習となったので、「しごと」と「つくり」を表す文章の書き方など良い練習になっており、図鑑づくりに楽しんで取り組む手助けとなった。</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;"><b>学習活動案・日本語支援について</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>1時間目</b></p>
<p style="text-align: center;"><b>課題</b></p>		<p>△「わたしは〇〇だと思います。」というモデル文を提示してはいたが、クイズに答えたいという気持ちが先に立ってしまいモデル文を使えない発言もあった。</p> <p>→日本語学級では、日ごろからモデル文を意識して正しい話し方を大切にするように教師も意識していく。</p>
<p style="text-align: center;"><b>2時間目</b></p>		<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの自動車のクイズを作るかというところから、カードを引いて決めたりしたことで、わくわくした気持ちでクイズづくりに取り組めた。</li> <li>○クイズをつくることで、自動車のしごととつくりを関連付けて考えることができた。</li> <li>○前時のクイズで、モデル文が分かっているため、クイズを作ったり発表したりがスムーズにできた。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>課題</b></p>		<p>△発表の練習の時間が十分に取れなかった。</p> <p>→日本語学級の中で発表の時間をもつことは、とても有効だと考えるので、時間配分を考えて十分練習し、発表する機会を作っていきたいと考える。</p>